



戦争と学校

令和5年
(2023)

8/5(土) ▶ 9/18(月・祝)

[開館時間] 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

[休館日] 毎週月曜日(9/18は除く)、9/1(金・資料整理日)

入館無料



今夏の戦争展は、昨秋(2022年11月)、向日市内で学校における近代教育が始まってから150年を迎えたことを機に、「戦争と学校」をテーマに開催します。

昭和12年(1937)7月に日中戦争が始まると、広い運動場や講堂のある学校は、地域の公共空間として戦時体制に組み込まれ、また総力戦を戦い抜く“少国民”を育成するための教育が強化されていきました。

この時代の学校について、市民の方々から寄贈・提供された資料や写真を中心に展示します。また運動会や、日中戦争開始後に小学校で活発化する訓練のようすを撮影した16ミリフィルムを、再編集して上映します。さらに、小学校の卒業生を対象とした青年学校についても取り上げます。

戦時下における向日市域の学校の歴史を、当時の資料や写真でふりかえり、あらためて平和の意味とともに考える機会にいただければと思います。

*“少国民”とは、日中戦争から太平洋戦争期の日本において、銃後の子どもを指す呼称で、時代を表す言葉として使っています。

写真上
向陽国民学校 正門から本館をのぞむ
昭和17年(1942)3月「修了記念」より

写真下
乙訓高等学校三年男子の演習風景
昭和12年(1937)10月



阪急東向日駅から徒歩8分
JR向日町駅から徒歩15分

向日市文化資料館

〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40-1

tel 075-931-1182 / fax 075-931-1121

http://www.city.muko.kyoto.jp/kurashi/bunka/

